

# AKITA会の報告書

イベント名：AKITA（明日の、希望を、今、東京でアートする）会

日時：7月10日（日）

場所：秋田ふるさと館

## 第一章 秋田に対する悪口（不満）

### ① 街づくり

- ・由利本荘の新しくできた橋自体はかっこいいものだが、街と調和が取れていない。このことが景観を崩している。街を作ることにに関して旧新の方向性がわからないので、もっと計画された街づくりを！
- ・街頭が少ないことが、夜歩く女性の身としてはとても怖い。

### ② 交通

- ・高速道路ができたことで、旧道を使われることが減少している。街に人が来なくなったと実感。（能代）
- ・有料自動車専用道で支払われたお金が、国にほとんど持っていかれることが不満。
- ・交通の便が悪すぎる。
- ・電車で移動するが、電車賃が高いために他の地域に行くことが困難。（秋田県が広いから高いのはわかってはいるが）

### ③ 社会

- ・若い人がいないし、人がこない。
- ・小学校統合をすると自分の地域からは、すごく遠くなるのが嫌だ。
- ・お店が閉まるのが早い。（だいたい20時～21時の間に閉まる）
- ・駅前なのに店舗がなく、面白くない。
- ・「よそ者はくるな」感、がすごい。特にお年寄りに多すぎる。
- ・フリーWIFIが少なくて不便
- ・カラオケが少なく、しかも料金も高いから利用しにくい。
- ・発信する力が弱い。県外に出てみてみんな秋田のことをまったく知らない。
- ・いつか秋田に帰ってきたいけど、なかなか帰る気にならない。（経済面など）
- ・親にも、「帰ってこないでいいからね。」と、言われる。（親世代も、未来の秋田に悲観的なので、わざわざここに留まることはないよという意味）

## 第二章 改善策

### ① 観光を強化すること

- ・移住してくれる人はそう多くないから、もっと観光に特化するべき。

⇒アウトドア施設を余っている土地を生かして作る

⇒スキー、温泉、食べ物（きりたんぼなど）が秋田にあるから、特に学生を誘致することがいいのでは。

⇒そのために、県内の交通アクセスをよりよくすること・

EX) 一日乗車券、シャトルバスなど。

⇒発信力に関しては、「SNS」と「学生」の力を上手く生かすべき

### ② 計画された街づくり

- ・一貫性のある開発を行うことが大事だと思う。
- ・景観を壊さないことが大事。

## 第三章 私たちが描く未来の秋田像

### ① 不便さが魅力

- ・不便は魅力。地域の特色は残して、秋田に合わせて変えていく。
- ・不便さを残す。

⇒最初からここが不便って伝えて、魅力を感じてもらおう。

⇒外国人の人は不便さのよさに気付いてくれている

### ② 他の県とも繋がる

・「よそ者くるな感」を出すのではなく、どんどん受け入れてお互いに盛り上げていけるコネクションを作る。

## 第四章 総括

今回のAKITA（明日の、希望を、今、東京で、アートする）会では、秋田の出身学生にもっと自分の故郷に対する危機感と、興味を持ってもらうことが当初の目的で企画を行いました。しかし、企画側が想像していた以上に学生は秋田にもっと良くなってもらいたいと考えており、また共通点としては秋田が好きだということが分かりました。

悪口とは裏返せば、秋田の改善点であると思います。また、ここに述べられていることは本音のトークなので、学生の生の意見が織り込まれています。改善点では、「学生目線で観光としてもっと生きるのではないか?」、「学生の力とSNSをもっと活用できるのでは

ないか?」、と討論をして、今の学生のニーズが少なからず反映されていると思います。

理想の秋田像としては、不便利さに価値を置いていることがわかりました。東京にでてきて2～4年経って、首都圏の便利さを享受しているからこそ感じている部分だと思います。今回の会では、学生達の理想を話しあったまでに過ぎません。しかし、首都圏内で未来を考えて語れる「仲間」を得たことは、今までにない価値だと考えています。これからもこのような活動をしていけたらと考えております。